

製品名: ZNHIT1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20291**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	18-22kDa

抗原情報

遺伝子名	ZNHIT1
別名	ZNHIT1; CGBP1; ZNFN4A1; Zinc finger HIT domain-containing protein 1; Cyclin-G1-binding protein 1; Zinc finger protein subfamily 4A member 1; p18 Hamlet
遺伝子 ID	10467.0
SwissProt ID	O43257
免疫原	ZNHIT1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 40-120

背景

機能:p53 を介したアポトーシス誘導に役割を果たしていると思われます。誘導:DNA 損傷によって誘導されます。PTM:MAPK11 ま

たは MAPK14 によって Thr がリン酸化されます。、PTM:ストレス誘導 ZNHIT1 は主にタンパク質レベルで制御されます。、類似性:ZNHIT1 ファミリーに属します。、類似性:1 つの HIT 型ジンクフィンガーを含みます。、サブユニット:MAPK11 および MAPK14 と相互作用します。少なくとも SRCAP、DMAP1、RUVBL1、RUVBL2、ACTL6A、YEATS4、ACTR6、ZNHIT1 から構成されるクロマチンリモデリング SRCAP 複合体の構成要素。機能: p53 を介したアポトーシス誘導に関与すると考えられる。、誘導: DNA 損傷によって誘導される。、PTM: MAPK11 または MAPK14 によって Thr がリン酸化される。、PTM: ストレス誘導性 ZNHIT1 は主にタンパク質レベルで制御される。、類似性: ZNHIT1 ファミリーに属する。、類似性: HIT 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。、サブユニット: MAPK11 および MAPK14 と相互作用する。少なくとも SRCAP、DMAP1、RUVBL1、RUVBL2、ACTL6A、YEATS4、ACTR6、ZNHIT1 から構成されるクロマチンリモデリング SRCAP 複合体の構成要素。、

研究分野

細胞生物学; アポトーシス; 細胞内; p53 経路

画像データ



1: 1000 に希釈した ZNHIT1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。